

種山ヶ原は今③⑧「イーハトーブ風景地」。詩碑「牧歌」

「賢治の森」 入口から遊歩道を30分ほど来ると賢治の森。6年程東菊(皿っこ花)を増やしてきました。5月中頃から咲き始め、春リンドウといっしょに一面に咲きます。年3回程草を刈ります
 詩碑「牧歌」と眼下に胆沢平野 東屋と立石



「牧歌」

種山ヶ原の 雲の中で刈った草は
 どごさが置いたが 忘れだ雨あふる。

種山ヶ原の せ高の芒あざみ
 刈ってで置き忘れだ 雨あふる

種山ヶ原の 霧の中で刈った草さ
 わすれな草も入ったが 忘れだ 雨あふる

種山ヶ原の置きわすれの草のたばは
 どごがの長嶺で ぬれでる ぬれでる

種山ヶ原の長嶺さ置いた草は
 雲に持ってがれで 無くなる無くなる
 種山ヶ原の 長嶺の上の雲を
 ぼっかげで見れば 無くなる無くなる
 賢 治





遊歩道に入るとすぐ「空と雲と草原の見えるベンチ」があります。是非一度寄ってみて下さい。広い草原が！
賢治の森周辺で見られる植物 (1)



東菊と春リンドウ



ヤマナシの花と実



ホタルブクロ



アザミとアゲハチョウ



桑の実



月見草



クマグリ



山百合



オニユリ?



ウバユリ



チゴユリ

種山ヶ原の麓の動物たち「キツネのお話」①

ある朝、キツネの子供と出会いました。子ギツネは、私を見て「お前は何者だ」と言いたげにじっと私を見ていました。カメラを向けても逃げるわけでもない。何故？

一昨年種山ヶ原の草刈りに行く途中会った子ギツネは、私が車で見つけて車を止めると、さっと逃げて行きましたが、間もなく戻って、私から5mほどの所に南の方を見て座り、私に背を向けているのです。不思議なことがあるものだと写真に収めました。なんてかわいいこと！

どうやら私が立っている所で何かを食べていたようで、食べ物を取り返しに来たようです。早くここから去って欲しかったのでしょう。少し震えて見えました…。

大谷地の堤のそばの牧草地で奇妙な光景に出会いました。キツネがよく野ネズミ等を捕まえている所です。今日もキツネが1匹。ちょっと様子が違う。周りにカラスが5、6羽。まるでキツネがカラスに囲まれているように見えました。1匹に向うと、そのカラスは飛び上がり、別の所に。そんなことを繰り返し、「捕まえられるなら捕まえて見な。」と言わんばかりに、完全にキツネを馬鹿にしている様子でした。何かかわいそうなキツネを見てしまいました。

下の写真も若いキツネが鴨を捕まえ損ね、すごすごと帰る姿。左のマガモ

